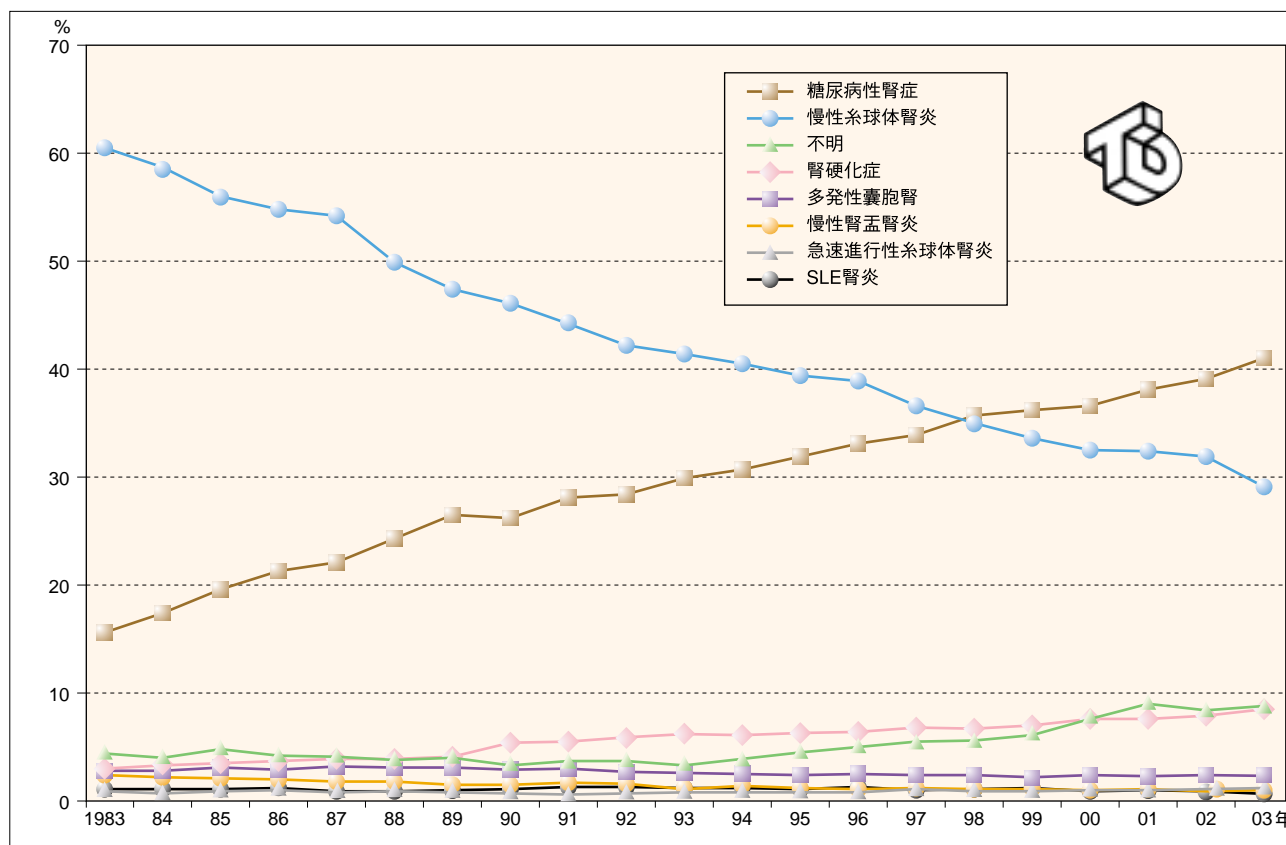


3) 導入患者の現状

(3) 年別透析導入患者の主要原疾患の推移 (図表11)



解説

年別導入時の原因疾患の推移

1998年度より導入の原因疾患として糖尿病による末期腎不全がトップとなり、2003年では41.0%を占めています。糖尿病性腎症による患者数は著しく増加しており、これに対して慢性糸球体腎炎の患者数比率は年々減少傾向があり29.1%と第2位です。原因疾患を不明とした場合に、独立した原疾患として扱ってきませんでした。2001年導入患者において不明が9.0%を占めることになり、この年より慢性糸球体腎炎に次いで第3番目に位置しています。2003年では8.8%と減少していますが、原因疾患の究明をできる限り行うことを要望します。腎硬化症も年々程度は著しくありませんが、着実に増加していることがわかります。多発性嚢胞腎、腎盂腎炎、SLEによるものはほぼ例年通りの比率です。